

事業の概要

【目的】

本地区は、神奈川県中央南部に位置し、二級河川渋田川、歌川流域の低平地に広がる農業地帯であり、水稻を中心として、飼料作物、野菜類を組み合わせた営農が展開されている。

しかし、地区内のほ場は小区画不整形かつ排水不良であり、また農道幅員は狭く、用水路も未整備のため、営農に支障が生じ農業経営は不安定な状況にあった。

このため、本事業によりほ場の大区画化と農道、用排水路の整備を行い、農業生産性の向上、農作業の効率化を図るとともに担い手への農地集積を促進し、地域の農業構造の改善等に資する。

【概要】

事業主体 神奈川県
 地区 大田地区(伊勢原市)
 受益面積 73ha
 受益者数 360人
 主要工事 区画整理73ha、
 農道12.6km、用排水路22.0km、
 暗渠排水72ha
 事業費 1,790百万円 経営体育成基盤整備事業
 事業期間 平成10年度～平成24年度
 (計画変更:平成17年度)
 関連事業 なし

【位置図】



事業の実施状況と効果

施設の整備状況

大型機械の導入



用排水路の整備



1,635筆



区画整理

785筆



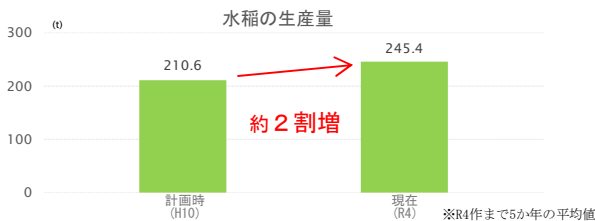
整備により、水田の区画が大きくなった。

事業の主な効果

【総費用総便益比 1.07】

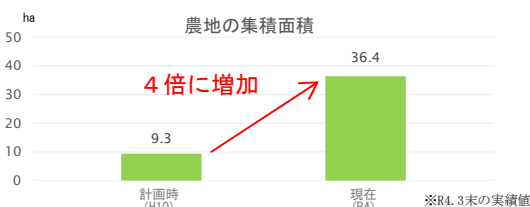
生産性の向上

「米の食味ランキング」特Aを受賞した水稻の新品種「はるみ」の生産が進んでおり、県内の学校給食にも供給されている。



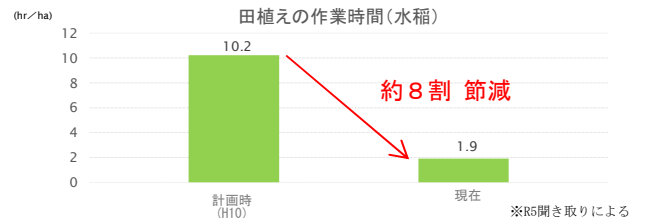
担い手の体質強化

本事業でほ場の大区画化が図られたことにより、担い手への農地集積が進んでいると共に新たな担い手として二つの営農組合が設立され、農作業の受委託が進んでいる。



営農経費の節減

ほ場の大区画化や農道の整備により、大型機械の導入が可能となり、農作業に係る労働時間が節減されている。



4条植田植機(歩行型)で10.2時間かかっていたものが、8条植田植機(乗用型)の導入により1.9時間に短縮された。

<波及効果> 地域農業の理解促進

多面的機能支活動組織が中心となり、毎年レンゲ祭りが開催され、多くの観光客が訪れている。

また、JA青年部と連携した田植え体験を行い、地域農業の理解向上に寄与している。

